



1



2



3



4

1. 「まんなか書庫」から広がる本
2. 書庫2層分の高さを活かした開放的な空間
3. 学びのスタイルに合わせて使える閲覧スペース(写真右はグループ学習室)
4. 「北入口」にある外廊下



日建連表彰 2020



第61回 BCS賞

オーテピア

高知新図書館等複合施設

選定理由 【選考委員】
野城智也・赤松佳珠子・菅順二

情報のデジタル化が進むなかで、本という情報媒体のあり方、そしてそれを主要なコンテンツとする図書館のあり方は大きく変わろうとしている。オーテピアは、こうした流れの中での地域の図書館の新たなあり方が探求された作品である。

高知県と高知市は、人口減少という状況を勘案し、県立図書館と市立図書館を従来のように別々に整備するのではなく、共同建設・共同運営する策をとった。結果として、二〇〇万冊という中国四国地方では最大級の収蔵容量を持つ図書館が出現することになった。しかし、図書館の規模が大きくなるほど、人と本の感覚的距離も遠くなりがちである。そこで、設計者は、今までにならぬ新たな空間構成を考案した。オーテピアは、津波対策のために設けら

れたピロティが支える免震層の上層に積み上げられた建築であるが、この各層のほぼ真ん中にガラス張りの書庫を配置し、閲覧室が書庫を取り囲む、という空間構成をとったのである。

階高六・四の閲覧室が二層の書庫を取り囲むことによって、利用者は、明るく開放感のある空間環境を享受するとともに、四周ガラス越しに見える一七〇万冊の書庫収蔵本の存在を実感している。閲覧室は、利用者同士が会話することを前提に計画されており、図書館のあちこちでは、利用者同士が本を挟んで意見交換をしたり、一緒に調べ学習をする光景も見られた。一方、外周壁周りには、個室の閲覧室が配置され、喧噪とは縁を切って研究調査をしたい利用者への配慮もなされている。加えて、群読や読み聞かせをする空間もあり、閉館時も利用できるようになっている。このような多様

な閲覧環境を提供することで、建築が、人と本との感覚的距離を大いに近接させる媒体となっていると言えよう。実際、学校生徒による見学も含め、開館以来、利用者は増加の一途をたどっており、「コロナ禍」においても、一日あたりの貸出冊数が伸びているとのことである。

ピロティで支えられた建築全体は、日曜市も開かれる高知市のメインストリート追手筋の楠の並木道の上に浮かんでいるかのような存在感があり、設計者が高知の知の集積点であるとして「知」の樹と呼ぶのも頷けるところである。外周壁面は、樹のメタファーから、リーフルーバーと呼ばれる日照調整用のGRCパネルとガラス面で構成されている。表面に天然材の木目を写し取って成型された精度の高いGRCの製作や、その据え付けをはじめとして、施工者のクラフトマンシップがここそこに滲み出ており、まさにBCS賞にふさわしい作品である。

オーテピア 高知新図書館等複合施設 計画概要

- 建築主 高知県、高知市
- 設計者 (株)佐藤総合計画、(株)ライト岡田設計
- 施工者 大成建設(株)、ミタニ建設工業(株)、(有)有生
- 所在地 高知県高知市追手筋2-1-1
- 竣工日 2017年12月15日

- 敷地面積 6,605m²
- 建築面積 4,379m²
- 延床面積 23,760m²

- 階数 地上9階、地下1階、塔屋1階
- 構造 鉄骨造、一部プレストレストコンクリート梁、鉄骨鉄筋コンクリート造、中間免震構造



詳細や他の写真などは左記のQRコードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰 2020 第61回BCS賞受賞作品》 追手門学院大学 Academic Ark / オーテピア 高知新図書館等複合施設 / 関西外国語大学 御殿山キャンパス・グローバルタウン / 資生堂グローバルイノベーションセンター S/PARK / 上越市立木族博物館 うみがたり / 水天宮御造替 / 須賀川市民交流センターtette / 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス / 豊中市立文化芸術センター / とら 赤坂店 / NICCA イノベーションセンター / 日本橋二丁目地区プロジェクト / パシフィック黒部 第1街区 / 日向市庁舎 / 福井県年輪博物館

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2020年で61回を数えました。